

当社は、アサヒグループが掲げる気候変動に関する中長期目標「アサヒカーボンゼロ」に基づき、2050年にScope 1, 2, 3においてCO2排出量を“ゼロ”とし、カーボンニュートラルの実現を目指します。その実現に向け、2030年までのCO2排出量を2019年比▲70%削減を目標に、生産時に排出されるCO2の削減に努め、新たな付加価値の創出と環境への負荷低減を両立させていく。

<事業適応計画の概要>

<仙台工場外観>

1. 事業適応計画の実施期間

2023年1月～2024年12月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

炭素生産性を41.6%以上向上させる。

3. 前向きな取組みの内容

仙台工場の蒸気ボイラー更新に伴い、A重油からLNGへ燃料転換を実施し、エネルギーコスト削減による付加価値額の増加および、エネルギー起源CO2排出量の削減に寄与。

この取組みにより炭素生産性を41.6%向上させる。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

